

# 県庁レモンおいしく使って

## 広島で収穫式 NPOに贈る

生産量日本一の広島県産レモンに親しんでもらうため、県が3月に県庁の敷地内に植樹したレモンの収穫式が17日であった。摘み取ったレモンは、精神障害者が菓子作りに取り組みNPO法人つくし工房可部（広島市安佐

北区）の就労支援事業所に贈られた。

正面玄関近くの緑地に植えられている高さ

約1・5メートルの5本の木は、いずれもたわわに実をつけた。収穫式には湯崎英彦知事と事業

所の利用者、スタッフたち計10人が参加。はさみを使って摘み取った計約150個を事業所に寄贈した。

事業所はレモンを使った菓子を作り、広島

市内の百貨店や広島空港（三原市）で販売している。利用者の川端千鶴さん（41）は「クッキーやマドレーヌに使うのが楽しみ」と話していた。（新本恭子）



広島県庁前の緑地で実ったレモンを収穫する川端さん（左）